

PART 1

Ryuji : Oh, here comes Ann *sensei*. She is an English teacher from Canada at Yuri's school and often visits my school. Hello, Ann *sensei*.

Ann : Hi! **How are you, Ryuji ?**
あいさつの表現

Ryuji : **Very well, thank you. And you?**

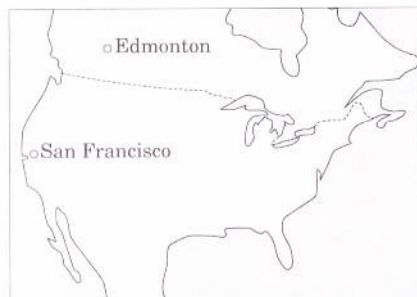
Ann : **Fine, thank you.**

Ryuji : Ann *sensei*, this is Bob from the United States. He's staying at my place. He's going to stay for a month.

Bob : Glad to meet you. I'm Bob.

Ann : Nice to meet you, too. I'm Ann. **I'm from Edmonton.**
出身を言う表現

Which part of the United States are you from?
出身をたずねる表現



Bob : San Francisco.

Ann : I've been there once.
A beautiful city.

語句

stay at ~ place
Edmonton
～に滞在している家
エドモントン市 (カナダのアルバータ州の州都)

have been there
once
そこに行ったことがある
一度

メインテーマ 「お元気ですか」「元気です」 / 出身を言う

(日本語訳)

竜二: あ、アン先生だ! アン先生はカナダから由里姉さんの学校に来ている英語の先生で、ぼくの学校にもよく来るんだ。こんにちは、アン先生。

アン: ハイ! 元気、竜二?

竜二: とても元気です。先生はいかがですか?

アン: 元気よ、ありがとう。

竜二: アン先生、こちらアメリカから来たボブさんです。今うちにとまっているんです。1か月滞在するんです。

ボブ: こんにちは。ボブです。

アン: こんにちは。アンよ。私はエドモントンの出身なの。アメリカはどちらなの?

ボブ: サンフランシスコです。

アン: 一度行ったことがあるわ。きれいなまちね。

<How are you? の答え方>

元気度の度合	
100%	Great! / Wonderful!
90	Very well.
70~80	Fine.
50	Not bad. / O.K.
40	So-so.
30	Not so good.
0	Terrible. / Awful.

たいせつな表現

23 「お元気ですか」「元気です」

顔を合わせた人に対し、機嫌をうかがうあいさつ表現で最もポピュラーなのが **How are you?** です。答え方は **Fine**、とか **Very well**、など。ポイントとしては、たずねられたときに、**How are you?** と聞き返したいものです。

24 出身を言う

出身地を言うときは、**I'm from Osaka**、とか **I come from Sendai**、とか言います。同様に出身地をたずねるときは、**Where are you from? / Where do you come from?** と言います。「～のどちらのご出身ですか」とくわしく出身地をたずねるときは、**Which part of ~ are you from?** と言います。都市の名前を期待している表現です。「アメリカはどのあたりのご出身ですか」とだいたい場所をたずねるときは、**Whereabouts in the U.S. are you from?** と **whereabouts** を使います。

PART 2

- Bob** : Uh...Ann, are you teaching at Japanese school?
Ann : Yes. I've been here as an ALT.
Bob : What does ALT stand for?
Ann : It stands for Assistant Language Teacher. Japanese *Monkasho* or the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology recruited a lot of native speakers of English for teaching at secondary schools in Japan. One of my professors at my college told me about that. I've been interested in Japan ; so I applied for it and I came here.
Bob : I see. **How long are you going to stay?**
Ann : Two years, according to the contract. But I hope I'll be here more longer if it's possible. I really like Japan.
Ryuji : I hope so.
Ann : Oh, **I've got to be going. See you.**
Bob : **See you.**

語句

have been here ここに来ている
 as an ALT ALTとして
 stand for ~ ~を意味する
 (略語などの意味を表すときに使う)
 or つまり
 the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology
 (日本の)文部科学省

recruit 募集する
 native speaker ネイティブ・スピーカー
 secondary school 中等学校
 apply for ~ ~に応募する
 according to ~ ~によると
 contract 契約
 possible 可能な

メインテーマ どのくらいの期間かをたずねる/さようならの表現

(日本語訳)

- ボブ：えーと、アンは日本の学校で教えてるんですか？
 アン：ええ。ALTとして勤めているの。
 ボブ：ALTって何ですか？
 アン：それは、英語指導助手っていう意味なの。日本の文科省が中高等学校で英語を教えるネイティブ・スピーカーをたくさん募集してたんだけど、私の大学の先生がそのことを教えてくれたわ。ずっと日本のことに興味があったものだから、応募して、それで来たの。
 ボブ：そうですか。どれくらい滞在する予定なんですか。
 アン：2年ね、契約では。でも、できるんだったらもう少し長くいたいわ。日本、気に入ってるの。
 ボブ：そうしてほしいです。
 アン：じゃ、そろそろ行かないと。またね。
 ボブ：さようなら。



たいせつな表現

25 どのくらいの期間かをたずねる

時間の長さをたずねるのが **How long?** で、これからの予定をたずねるのなら、そのあと **are you going to ~** と続けます。答え方は、ふつうはその期間だけ、例えば **Two weeks.** とか **For two weeks.** とかのように言います。

26 さようならの表現

人と別れるときの表現としては、最もポピュラーなのが **Goodbye.** ですが、その他に、**See you.** とか **Bye-bye.** とかもよく使われます。しかし、いきなり「さよなら」と言うのではなく、その前に「もうそろそろ行かなければ……」と別れを切り出す言葉を入れるのがポイントです。**I have to go.** とか **I must be going.** とか **I've got to be going.** などという表現を使います。